



山都町で棚田保全活動10周年！

『つながるシェア田』

10月12日、菅地区にて『つながるシェア田』2025稲刈祭が開催されました。この活動は、棚田の保全を通じて里山の魅力を発信する取り組みとして2015年に始まり、今年で10周年となります。当日は元メジャーリーガー岡島秀樹さんをはじめ、首都圏を中心に約20名が参加。6月に田植えをした田んぼの稲を一株ずつ鎌で刈って束ね、最後は参加者全員で掛け干しを行いました。

稲刈り参加者の声

頭を垂れる稲穂は、惚れ惚れするほど美しく輝いていて、心が洗われました。この美しい棚田を守るために、並々ならぬ生産者の皆様のご苦労がある事を知る機会となりました。美しい棚田の景色を未来につなげていくためには、私たち一人ひとりの関心と小さな行動の積み重ねが大切だと感じました。



アイガモ農法によるお米作り

アイガモ農法とは？

アイガモが雑草や害虫を食べることで、農薬などを使わずに環境に優しいお米を栽培する農法。



稲刈祭に参加されたみなさん



6月に開催された田植えの様子

つながるキッチン代表

中原麻衣子さん

田植えに続き、たくさんのおーナーが参加してくれて豊作をみなで喜ぶ尊い時間になりました。有機農業発祥の地、山都町を知っていただき、都市と農村がつながり、支え合うことがこの先の日本、一次産業に必要な力だと思うので次の10年も頑張ります。

今月の表紙

今月の表紙は、『つながるシェア田稲刈祭』の取材で出会ったアイガモたちのユニークな瞬間を収めた写真です。翼を広げた姿を捉えようとカメラを構えていたところ、アイガモ同士が漫才をしているような微笑ましい場面に遭遇しました。まるで「なんでやねん!」とツッコミを入れているように感じられる1枚です。珍しいデザインの表紙を通じて、広報紙を使った大喜利?なども面白いかも知れませんね。ぜひ家族や友人ともこの表紙を共有して楽しんでください!



目次

- 3 山都町で棚田保全活動10周年
- 4 祝! 金婚夫婦表彰式
- 6 やまとの話題
- 9 100歳 おめでとうございます
- 10 まちからのお知らせ
- 15 福祉だより／保健だより／やまと文化の森だより／山の都移住すまいるセンター通信／わたしたちの人権／SDGs未来都市山都町／山都ラボ通信／矢部高校だより／図書館だより／山都警察署・協議会だより／寄附のお礼（山都町社会福祉協議会）／編集後記
- 24 イベントカレンダー／だっこ

町公式ホームページ

阿蘇山麓のまち



最新情報は町公式ホームページをご覧ください。

町の情報発信



公式ライン



防災アプリ
「ライブビジョン」



公式インスタグラム

「#my_yamato」のハッシュタグで山都町の写真・動画を投稿してください。一緒に山都町の魅力を発信していきましょう!

人のうごき

総人口	12,531人(−25)
男	6,078人(−14)
女	6,453人(−11)
世帯	6,192戸(−11)
※()は前月比	
令和7年10月 出生者	1人
死亡者	16人
最高齢	106歳〔女性1名〕 (令和7年10月31日現在)